

ラヴノー、ドーヴィサに次ぐトップ生産者“ドロワン” 最上級のレ クロ 2023VT を数量限定でご案内します！



ブノワ ドロワン (2026年現地視察にて撮影)
ワイナリーの眼前にはレ クロの畑が広がっている



シャブリ グラン クリュ レ クロ オマージュ ア ルイ 2023 Chablis Grand Cru Les Clos "Hommage à Louis"

- ★「ル ギド デ メイユール ヴァン ド フランス 2026」 97 点 ★「ティム アトキン.com」 96 点
- ★「ジャスパー モリス インサイド バーガンディ」 94-97 点&5 星
- ★「ワイン アドヴォケート 2025.3.7」 95 点 ★「ベタンヌ&ドゥソーヴ 2026」 95 点
- ★「ヴィノス 2024.6」 94 点 ★「アレン メドゥズ バーグハウンド.com」 93 点
- ★「ル ギド アシェット デ ヴァン 2026」 2 星&Coupe de Coeur

限定
120 本

白・辛口 <Alc.13.0 %> 国/地域等：フランス/ブルゴーニュ/シャブリ 等級：A.O.C.
生産者：ドメヌ ジャン ポール エ ブノワ ドロワン
葡萄品種：シャルドネ 100% 熟成：タンクと樽で 8~10 ヶ月
品番：FD-383/JAN：4935919963831/容量：750ml

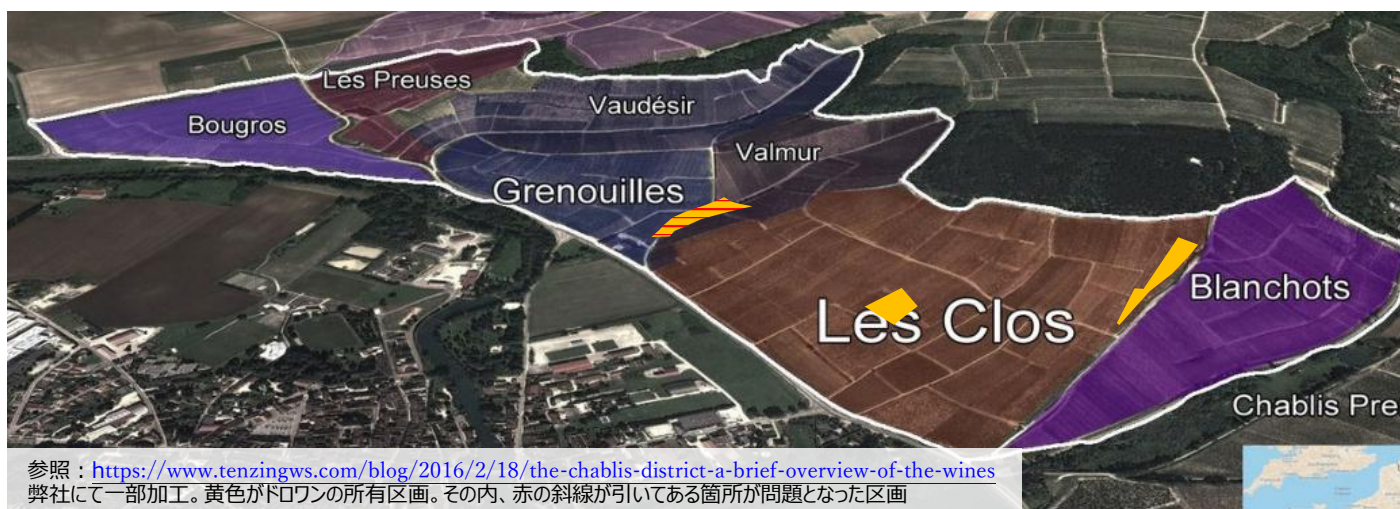
¥26,400(本体価格¥24,000)

※ヴィンテージ、価格など記載されている情報は 2026 年 9 月時点のものです。

CHABLIS GRAND CRU LES CLOS “HOMMAGE À LOUIS”

シャブリ グラン クリュ レ クロ “オマージュ ア ルイ”

ジャン ポール エ ブノワ ドロワンは、1620 年にまで遡る歴史的なドメーヌです。1866 年 5 月 6 日には、ナポレオン三世がオーセロワ地区を訪れた際に、当時の当主エドム オーギュスト ドロワンがワインを献上し、帝国の紋章が刻まれた銀のタストヴァンを授けられたというエピソードもあります。およそ 400 年の歴史の中で少しずつ畑を買い足し、現在ではシャブリの 7 つのグラン クリュの内、5 つの畑からワインを造る稀有な個人生産者となりました。ドメーヌは、シャブリの中心地を流れるスラン川を渡ってすぐのところにあり、目の前には、まるでドロワンのためにあるかのようにレ クロの畑が広がっています。ブノワは、「私がレ クロを好きな理由は、骨格がありながらエレガントで、バランスが取れている上にミネラルがしっかりと感じられるからです」と話します。所有する区画は合計で 1.4195 ha で、年間生産本数は 9,000 本〜1 万本しかありません。



ドロワンが所有するレ クロの区画は3つに分かれています。すべての区画でキンメリジャン期に由来する複数の種類の土壌が共存しており、斜面上部のブランショとの境界線部分では浸食が激しく、土壌は小石が多く石灰質である一方、中央部には青色の粘土層が見られ、斜面下部のヴァルミュールとの境界線部分では土壌が深く粘土質となっています。これにより、このクリュの特徴を余すことなく表現することができています。ドロワンはこのワインを、2019VTまでは「レ クロ」、2020VT〜2022VTまでは「オマージュ ア ルイ」、2023VTからは「レ クロ オマージュ ア ルイ」として生産しています。きっかけとなったのは、ヴァルミュールとの境界線にある区画について、AOCの制定と管理を管轄するINAOが、この区画をレ クロに認めない、と主張したことでした。歴史をさかのぼると、10代目当主ルイ ドロワンが1920年にこの区画を取得した際の公正証書には、“Au Clos, lieu-dit Les Clos”（オー クロ、レ クロのリューディ）と記載されていました。ドロワン家では、この区画を名称としても、テロワールとしてもレ クロであるとして、100年以上の間、レ クロとして生産をしてきました。

一方、INAOがシャブリのAOCを制定するにあたり、参考にしたのが19世紀前半に作成されたナポレオン地籍でした。そこには、この区画が“Envers de Valmur”と記されていたため、ヴァルミュールとして格付けしたという経緯があります。しかしその後、この区画の葡萄をレ クロとしてリリースすることに対し、禁止措置はとられませんでした。ところが、2013年にフランスの行政側がこれを問題視し始めたのです。ブノワは必要なすべての書類を提示し、「レ クロのテロワールを持つ区画」として異議を唱えてきました。INAOはその主張に反論しなかったものの決定には時間を要したため、2020VT〜2022VTでは公的に認可されませんでした。ブノワはこの区画からの葡萄をブレンドせずに、他の区画だけで「レ クロ」をリリースすることも可能でしたが、それは彼の信条に逆らうことになります。そこで「自分達が造り続けてきた伝統的なレ クロ」を守ることにしました。そして、この区画を取得したルイに敬意を表し、グラン クリュ「オマージュ ア ルイ」としてのリリースを決めたのです。2025年2月、ついにINAOはブノワの主張を認めた公示を発表し、2つのクリュの境界線を変更してこの区画をレ クロとして公的に認定しました。

「(前略) 最後に、レ クロがその本来の圧倒的な力強さを見せつける。
わずかに還元香があるが、豊かでふくよかな果実味が堂々と表現されている。
深みがあり大地のエネルギーを感じさせる、まさに偉大なシャブリの典型例だ」

——『ル ギド デ メイユール ヴァンド フランス 2026』より「レ クロ オマージュ ア ルイ」2023VTについてのコメント